

● 小学校教諭一種免許状取得のための履修基準

施行規則に定める科目区分等			必要 単位数	授 業 科 目 名	単位数	
科 目 区 分	各科目に含めることが必要な事項	必修			選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	30	国語(書写を含む)	2	
		社会		社会	2	
		算数		算数	2	
		理科		理科	2	
		生活		生活	2	
		音楽		小学校音楽Ⅰ 小学校音楽Ⅱ	1	1
		図工		図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ	1	1
		家庭		家庭	2	
		体育		体育Ⅰ 体育Ⅱ	1	1
		外国語		小学校英語	2	
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)		国語指導法Ⅰ 国語指導法Ⅱ	1	1
		社会		社会科指導法Ⅰ 社会科指導法Ⅱ	1	1
		算数		算数指導法Ⅰ 算数指導法Ⅱ	1	1
		理科		理科指導法Ⅰ 理科指導法Ⅱ	1	1
		生活		生活科指導法Ⅰ 生活科指導法Ⅱ	1	1
		音楽		音楽指導法Ⅰ 音楽指導法Ⅱ	1	1
		図画工作		図画工作指導法Ⅰ 図画工作指導法Ⅱ	1	1
		家庭		家庭科指導法Ⅰ 家庭科指導法Ⅱ	1	1
		体育		体育指導法Ⅰ 体育指導法Ⅱ	1	1
		外国語		外国語指導法Ⅰ 外国語指導法Ⅱ	1	1
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学原論	10	教育学原論	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教師論		2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度論		2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学		2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育		2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論		2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	10	道徳教育論	2	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法		2		
	特別活動の指導法	特別活動論		2		
	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術		2		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		1		
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論		2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談		2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導Ⅰ	5	教育実習事前事後指導Ⅰ	1	1
		教育実習事前事後指導Ⅱ		教育実習事前事後指導Ⅱ		
		教育実習Ⅰ		教育実習Ⅰ	2	
		教育実習Ⅱ		教育実習Ⅱ	2	
	教育実習Ⅲ	教育実習Ⅲ		2		
教育実習Ⅳ	教育実習Ⅳ	4				
教職実践演習	教職実践演習(小)	2	2			
大学が独自に設定する科目		介護体験	2	介護体験	1	
		学校支援ボランティアⅠ		学校支援ボランティアⅠ	1	
		学校支援ボランティアⅡ		学校支援ボランティアⅡ	1	
合 計			59		62	20

※1 小学校教諭一種免許状を取得するためには、学士の学位を有するとともに、本表に示す必修科目62単位及び「教科及び教科の指導法に関する科目」から選択科目3単位以上修得しなければならない。

※2 「大学が独自に設定する科目」の必要単位数2単位以上については、「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」において、必要単位数を超えて修得した単位数を含めることができる。

※3 この表に示す他、全学共通科目から「日本国憲法(2単位)」「情報基礎演習(1単位)」「情報応用演習(1単位)」「健康とスポーツ(2単位)、健康とスポーツ実習(1単位)から2単位」「英語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ(各計2単位)から1外国語2単位」を修得しなければならない。